

## 入札監理小委員会における審議結果報告

### 科学技術振興機構 JST セキュリティ監視運用業務

当該『民間競争入札実施要項（案）』を入札監理小委員会において審議したので、その結果（主な論点と対応）を以下のとおり報告する。

#### 1. 事業概要

- 公共サービス改革基本方針（平成 24 年 7 月 20 日閣議決定）別表において、官民競争入札の対象として「科学技術振興機構 JST セキュリティ監視運用業務」が選定されたものである。
- 第一期の市場化テストは、平成 29 年から今年度まで実施中である。本案件は、第二期の事業に向けた実施要項（案）の審議を諮るものである。

第一期	平成 29 年 10 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日（2 年 6 ヶ月間）
第二期	令和元年 11 月 29 日～令和 5 年 3 月 31 日（3 年 4 ヶ月間）

- 第一期の入札結果は、一者応札及び経費の増加であり競争性の確保及び経費削減について課題が認められた。
- 第二期市場化テストにおいては、機器の監視業務を削減することとし、競争性の確保及び経費削減を図るものである。

#### 2. 第二期の取組について

- これまでの経緯を踏まえ、第二期調達で工夫した点を以下に示す。
  - ・引継期間の長期化（3 ヶ月→4 ヶ月）
  - ・契約期間の長期化（2 年 6 ヶ年間→3 年 4 ヶ月間）
  - ・入札説明会を複数回確保（1 回→2 回）
  - ・監視対象機器以外のネットワーク機器の稼働監視・保守・運用業務を削減
  - ・総合評価基準の総合評価点の見直し
  - ・従来の実施状況に関する情報の開示

#### 3. 実施要項（案）の審議結果について

実施要項について特段の指摘はなかったが、今後の実施に際し以下の要望があった。

- ① 前回から追加及び削除した業務についての経費を把握し、評価を適切に実施する。
- ② 機構が所有している機器について、民間業者から積極的な提案を求め、機器の更新などセキュリティ対策を万全にする体制を整える。
- ③ 総合評価基準書について新規事業者が参入しやすいように配点の高い自由提案を求めているが、機構側が必要としている項目を明示する必要がある。

#### 4. パブリック・コメントによる対応について

パブリック・コメント（平成 31 年 4 月 22 日から令和元年 5 月 22 日）を行った結果、3 者から 20 件の意見・質問等が寄せられた。JST において内容を検討した結果、意見

等を踏まえ、応札者が業務内容等をより理解しやすくなるように、5件について反映し実施要項（案）を修正した。